

一般質問通告一覧表 (発言順)

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
12/5 (金)	いぶき 飯豊明久	<p>1. 公務員の政治家・政党公認議員の SNS 動画への出演に関する服務規律について</p> <p>2. 老朽化した庭球場の修繕計画とナイター設備設置に関する要望への対応について</p> <p>3. 公契約の適正化、職員の給与改定、医療・介護分野の処遇改善による市民・職員の手取りを増やす取り組みについて</p>	<p>① 市では、特定の政治家や政党公認の議員が「公式」を謳い、または管理・出演している YouTube やその他の SNS 動画に、当該議員の求めに応じて出演し、公務に関する質問や要求に回答する行為について、地方公務員法第 35 条（職務に専念する義務）、同法第 36 条（政治的行為の制限）に抵触する可能性はないのか見解を伺う。</p> <p>② 今後、職員に対し、どのような服務規律に関する指導、及び出演の際のルール作りを行う方針か伺う。</p> <p>① 市が管理する全ての庭球場について、老朽化の現状と修繕・改修の必要性の有無をどのように評価・把握しているか伺う。特に、利用者からの声を踏まえ、改修の緊急度が高いと認識している施設があるか明確に示されたい。</p> <p>② 市内庭球場へのナイター設備設置に関する市民からの要望とその対応について伺う。</p> <p>③ 四街道中央公園のクレーコートについては、現状の利用上の課題をどのように認識しているか。また、全天候型コート化を含めた具体的な修繕・改修の計画があるのか伺う。</p> <p>① 市内全ての産業の労働環境改善と地域経済の底上げを目的として、文京区や品川区で導入が進む賃金保障型公契約条例について、市は現状をどのように認識しているか。本市においても、公契約の適正化を通じた市内全域の賃金向上に向け、条例の制定またはこれに準じた制度の導入を検討する意思があるか伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	<p>4. 万引きの背景にある貧困・依存症対策と医療・福祉連携による再犯防止について</p> <p>5. 和良比小学校の安全対策について</p>	<p>② 令和7年10月15日、千葉県の人事委員会勧告における4年連続の給与引き上げ勧告について、市はどのように受け止めているか。勧告に従い給与の引き上げを検討しているか、検討している場合はいつまでに、どのような形で実施する方針か具体的に示されたい。また、物価高騰下での給与改定が職員の士気向上に果たす役割についての見解を伺う。</p> <p>③ 医療・介護分野における深刻な人材不足と処遇改善の必要性について、市の認識を伺う。国や県の制度に頼るだけでなく、市独自の支援策として、事業者の人材確保を直接支援するための補助金や奨学金制度の上乗せといった、具体的な施策を強化・拡充する考えはないか。</p> <p>① 万引きの現状について、令和6年度の市内認知件数及び小売事業者の被害総額をどのように把握しているか。また、万引きが地域の防犯・治安だけでなく、小売事業者の経営に与える深刻な影響について、市はどのような課題認識を持っているか伺う。</p> <p>② 万引き行為の背景には、クレプトマニア（病的窃盗症）や生活困窮といった福祉・医療的な課題があることを市はどのように認識しているか。再犯防止のため、警察と連携し、当事者を福祉・医療サービスに繋ぐための具体的な仕組みを構築しているか。構築していない場合、早急な検討の意思を伺う。</p> <p>① 和良比小学校の裏門が故障して開閉困難となり、常時門が開放されたままとなっている。誰でも簡単に敷地内に入ることができ児童の安全面を懸念する保護者、近隣住民の声を聞いているが市の対応状況を伺う。</p>
チャレンジ みらい 六田喜彦	1. 鈴木市政について		<p>① 鈴木市政の4年間について評価を伺います</p> <p>② 人口減少局面を迎える中で本市の魅力向上の取組みについての考え方を伺います</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	2. 身体障がい者の現状の課題について 3. 次期ごみ処理施設の計画変更について 4. 旧消防資料倉庫用地の活用について 5. 公共施設再配置計画について 6. 自治会・区の活性化について 7. 姉妹都市交流事業について 8. ランニングイベント事業について 9. 中学校部活動の地域展開について 10. 都市計画道路3・4・7号南波佐間内黒田線の進捗状況について 11. 安全な自転車利用の推進について	③ 行財政改革の取組みの成果と課題について伺います ① 通所施設の充実に向けての課題を伺います ② 発災時の個別避難計画の取組み状況を伺います ① 建設予定地である吉岡地区との協議の状況や今後の協議の進め方を伺います ① 旧消防資料倉庫用地の活用について、吉岡地区との協議の状況を伺います ① 国民保養センター鹿島荘の利用状況について伺います ① 自治会・区の加入率の増加や活性化の取組みについて見解を伺います ① 本年も姉妹都市リバモアとの交流を行ったが課題や成果について伺います ① ランニングイベント「ワラビーラン」の課題や成果について伺います ① 地域クラブ化を進めているが状況を伺います ① 都市計画道路3・4・7号南波佐間内黒田線の用地買収の進捗状況を伺います ① 2026年4月から自転車走行に関する道路交通法が施行されますが周知の状況を伺います
12/8 (月)	チャレンジ みらい 岸本潤一郎	1. 莫大な汚染土対策費と、地下水汚染リスクによる吉岡での次期クリーンセンター計画中止を受け、現在地での早期建替えによる費用削減・福利厚生強化と地域再開発について	9月議会では吉岡地区での次期クリーンセンター建設計画に関し、以下の5点の問題を指摘した。 <ul style="list-style-type: none"> ・汚染土撤去費が40～100億円に及ぶ可能性があること ・汚染土の最終処分地が未確定であること ・建設工事に伴う地下水汚染のリスクがあること ・老朽化した現施設の延命補修費が14年間で数十億円に上ること ・鹿島荘と市営温水プールの廃止で市民の福祉が低下すること これらを踏まえ、現在地での建替えによる大幅な費用削減と地域再開発を提案した。しかし、市の答弁は八街市との広域化に終始し、核心的な問題点には一切回答がなかった。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		<p>その後、市が正式に吉岡での建設計画を中止したことは、私が指摘した「汚染土対策費の莫大さ」と「地下水汚染リスク」の観点から、適切な判断と安堵した。</p> <p>一方、これらのリスクは汚染土が発覚した10年以上前から明らかであり、判断の遅れが計画全体の遅延と多額の無駄な支出を招いたことは、今後の反省材料とすべきである。</p> <p>しかし、市は依然として「広域化ありき」の姿勢を崩さず、新クリーンセンター稼働を最短でも14年後とし、現行施設に数十億円規模の延命補修費を投入する計画を示している。これでは吉岡中止判断の遅れから何ら学んでいないように見える。</p> <p>市の本来の責務は「最短で、最小の費用で、最大の市民福祉を実現する新クリーンセンター建設」である。</p> <p>最新のごみ発電・排熱回収技術を活用し、現在地で建替えを行えば、鹿島荘や温水プールを維持しながら、地域再開発による市民サービス向上も実現できる。したがって、広域化・単独を問わず、現在地での建替えこそ最も合理的な判断であると考える。そこで、市民の皆様の声を代表し、以下3点伺う。</p> <p>① なぜ市は現在地での建替えを拒むのか。 その根拠を伺う。</p> <p>みそら自治会では、令和7年4月の定期総会で「現在地での最新技術による建替え」を正式に決議し6月には市長宛に要望書を提出した。しかし市は、33年前に締結された協定書を理由に現在地での建替えを否定した。そこでみそら自治会は、令和7年11月に、当該協定書の見直し・解消を市長に正式に申し入れた。よって、現在地建替えに法的・地域的な障害はもはや存在しない。むしろ、市が自ら障害となっている。</p> <p>なぜ市は、最も費用を抑え市民福祉にも寄与する「現在地での建替え」を拒むのかその明確な理由を伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		<p>② 今後、新クリーンセンターの複数案比較（費用・メリット・デメリット）を実施し、公開して頂けるか伺う。</p> <p>公共事業として市は複数案を比較し費用・効果・リスクを明確に示した上で、市民と議会に説明責任がある。</p> <p>市が令和4年に示した試算では以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吉岡単独案：600億円（27年稼働） ・ 吉岡広域案：521億円（20年稼働） <p>一方、昨年視察した武藏野クリーンセンターでは、同規模の処理能力で、建設費と20年間の運転人件費・補修費・光熱費を含め、総額222億円で整備されていた。</p> <p>当市の高額な見積もりは、汚染土処理費と現行超老朽施設の延命補修費が原因であり、税金の無駄遣いにつながる。よって、以下の3ケースの費用と効果を定量的に比較し、その結果を議会と市民に公開を求める。</p> <p>ケース1：広域化・建設地未定（14年後稼働）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行施設の延命補修費を含む建設総費用 ・ 稼働後20年間の運転費（人件費・補修費・光熱費） ・ 鹿島荘・温水プール廃止による福祉低下 ・ 新たな場所選定リスク ・ 広域輸送コストとリスク <p>ケース2：広域化で現在地に最短で建替え（努力次第で最短6年で新設可能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現老朽施設の延命補修費を除く建設費 ・ 稼働後20年間の運転費（人件費・補修費・光熱費） ・ 鹿島荘・温水プール存続による市民福祉向上効果 ・ 周辺地域再開発による地域振興効果 ・ 広域輸送コストとリスク

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		<p>ケース3：単独で現在地に最短で建替え（努力次第で最短6年で新設可能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現老朽施設の延命補修費を除く建設費 ・稼働後20年間の運転費（人件費・補修費・光熱費） ・鹿島荘・温水プール存続による福祉向上 ・周辺地域再開発による地域振興効果 <p>③ ②の比較分析を踏まえ、現在地での建替えの再検討を今後実施頂けるか伺う。</p> <p>④ 広域化の問題点と、今後の新クリーンセンターのグランドデザイン検討について伺う。</p> <p>市は広域化を前提としているが、広域化にも次の問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市との調整により新施設の稼働が14年以上先になる ・現施設の延命補修に数十億円を要する ・廃棄物の長距離輸送により輸送費が増大（変動費で削減不可） ・中継施設設置といった新たなコスト・環境負担の発生リスク ・他市をゴミ収集車が通過するルートにおいて、通過拒否の可能性がある ・新クリーンセンターの遠隔地建設により市民の粗大ごみ持ち込みが困難になる <p>また近年では、単独自治体規模のゴミ量でも高効率な排熱回収・発電が可能な最新技術が実用化されており、「単独では非効率」という従来の考え方は既に過去のものである。</p> <p>さらに、広域化を見据える場合でも、他市との調整期間中に多額の補修費を現行老朽施設に費やすのではなく、広域化を想定した新施設を早期に整備するという選択肢も十分に考えられる。</p> <p>したがって、吉岡計画中止をチャンスと捉え、「最短で、最小費用で、最大の市民福祉実現」という原点に立ち返り、次期クリーンセンターの最も効果的な在り方について、新たなグランドデザインを早急に検討するか伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	2. 吉岡汚染残土対策費の大幅削減と、産業用地としての吉岡再開発について	<p>吉岡でのごみ処理施設の大規模建設工事には、浅い地層に滞留する汚染土壌からの汚染水が、四街道市および近隣市が飲料水や農業用水に利用する地下水脈に流入する重大なリスクが存在する。このような事態が起これば、取り返しのつかない影響を及ぼすことは明らかである。</p> <p>したがって、吉岡地区はクリーンセンター建設地としてではなく、汚染土対策費を最小化しつつ、地域経済にも貢献できる産業用地としての活用を図ることが重要である。その際には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水汚染の防止 ・地中汚染水の増加抑制 ・汚染土の地表への影響防止 <p>の 3 点を確実に担保できる形での産業誘致が不可欠である。</p> <p>9 月議会では、経済産業省の鉱山残土対策としての「覆土・植栽」に加え、大規模建設を必要としない、若者に人気のスケートボードパークの例も紹介した。その後も私は、吉岡地区の再開発を市の重要課題の一つと捉え、具体的な調査・検討を進めている。</p> <p>そこで、以下 3 点について伺う。</p> <p>① 吉岡の産業用地としての活用について</p> <p>栗山地区で発生した汚染土問題にも拘らず、同一業者による吉岡への汚染土搬入を防止できなかったのは行政の管理監督不足である。この経緯を踏まえれば、汚染土対策および吉岡の開発は、市の最重要課題の一つである。吉岡は国道 51 号に面し、立地条件としても産業用地に最適と以前伺った。</p> <p>そこで市は、吉岡のクリーンセンター以外の産業用地としての活用可能性について具体的な調査・研究を行っているか伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		<p>② 吉岡を水耕農業型産業用地として活用する可能性について伺う。</p> <p>私自身、以下の 3 点に着目し、関連企業及び関係省庁と連携しながら調査を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚染残土を封印できること ・雨水による汚染水増加と地下水汚染を防止できること ・日当たりが良く、国道 51 号沿いという地の利を活かせること <p>これらの条件を踏まえると、連結温室による葉物野菜・トマト・イチゴといった水耕栽培が有望な活用モデルであり、全国でも成功事例が存在している。</p> <p>この方式は、汚染土への雨水浸透を防止し、地中汚染水の増加を抑制でき、地表から汚染土を完全に封印でき、地下水汚染を防止しつつ、産業用地としても機能するという点で極めて合理的であり、結果として汚染土対策費の大幅削減、市の農業振興、税収増加、地域経済の活性化にも寄与する。</p> <p>さらに、成功すれば四街道市が全国的な先進自治体のモデルとして注目を集めることにもつながる。</p> <p>③ ②の事例も含め、吉岡用地の新たな産業活用策について、市としても前向きに検討を進めていただけるか伺う。なお、私もこの取り組みには全力で協力する。</p> <p>④ 産業用地化での国の補助金活用について</p> <p>産業用地活用を進めるにあたり、市の財政負担を軽減できる国の支援制度（例：地方創生交付金 2.0）の活用も考えられる。</p> <p>補助金や交付金の適切な活用で、財政リスクを抑えつつ、汚染土対策と地域産業振興を同時に進めることができる。市として、これらの制度活用の可能性について調査・検討を行って頂けるか伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
前頁から 引き続き	3. 鹿島荘の閉鎖見直しと、リニューアルによる市民福祉の向上、そして稼げる施設としての活用について		<p>鹿島荘は、地域の高齢者の交流と健康づくりの拠点として長年にわたり親しまれてきた。</p> <p>鹿島荘では毎年3回開催される敬老会には各回100名を超える方が参加し、その他、カラオケ、囲碁、麻雀、ヨガ、三味線といったサークル活動が毎週行われ、令和6年度は7256人という極めて多数の方がご利用されている。</p> <p>こうした活動は、ご高齢者の外出機会を増やし、地域の交流促進や心身の健康維持に大きく寄与している。</p> <p>しかし、市はクリーンセンターの吉岡移転を前提に、鹿島荘を令和9年3月で閉鎖を計画している。</p> <p>この方針は「ご高齢者に優しいまちづくり」を掲げる本市の方向性に逆行するものであり、見直しが必要と考える。</p> <p>鹿島荘が閉鎖されれば、ご高齢者が外出や交流の機会を失い、引きこもりが進み、結果的に心身の健康悪化や医療・介護費の増加につながる恐れがある。</p> <p>一方、現在地でのクリーンセンター建替えを前提とした地域再開発を行えば、鹿島荘や温水プールを含めたリニューアル・複合活用も可能であり、市民福祉向上と施設収益化の両立が期待できる。したがって、現クリーンセンターの稼働期間中は、鹿島荘を継続利用とし、令和9年3月での閉鎖をいったん延期し、再検討していただきたい。については、以下伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 鹿島荘を令和9年3月で閉鎖する方針を見直し、現クリーンセンター稼働期間中は継続利用とする考えはあるか。 ② 今後、鹿島荘をリニューアルし、福祉機能の強化と地域のにぎわいを生み出す収益施設として活用する方向で検討できないか。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	<p>4. 高齢化社会における消防活動の増加に伴う署員負担の軽減支援策について</p> <p>5. 加入率の低下に苦しむ市内自治会への支援について</p>	<p>近年、本市においても高齢化の進行や猛暑といった気候変動の影響により、消防署の出動件数は毎年増加傾向にある。これに伴い、署員の負担は増大しており、消防活動を支える体制の強化が急務である。そこで、以下伺う。</p> <p>① 任期制退職自衛官の活用について 以前提案させて頂いた、防衛省地方協力本部と連携した任期制退職自衛官の方の消防への再就職プログラムの検討について進捗状況を伺う。</p> <p>② 消防署員数の確保について 消防車・救急車には必要な搭乗員数が定められているが、高齢化社会で出動件数が増加する中、市民の安全を確保する上で十分な署員数の維持の観点から、 • 現在の消防署員数 • 市が定める定員数 • 実際の現場で必要とされる人員数 と、実際の必要人員数に現在の定員数が満たない場合、定員数の拡充を検討するか説明願う。</p> <p>③ 仮眠・休憩環境の改善について 激務化する署員の仮眠休憩室環境の改善計画について、市の現状と今後の方針を伺う。</p> <p>④ 老朽化消防本部建替えと補助金活用について 消防本部建物は築50年を超えて老朽化が進んでいる。署員の待機・休憩・仮眠環境の悪化にもつながっており、建物の改善が急務である。 市の財政状況が厳しい中、内閣府の地方創生交付金2.0や特区制度といった補助金活用による建替えの可能性について、現時点の検討状況を伺う。</p> <p>市内88の多くの自治会では高齢化や独居世帯、単身世帯の増加で、自治会加入率が60%台にまで低下しており、深刻な課題となっている。 自治会はごみ集積所管理から、地域防犯、環境整備、災害時の共助、高齢者支援、地域行事といった、住民生活を支える重要な役割を担っている。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		<p>したがって、自治会加入率向上は、地域の安全と活力を守るために喫緊の課題である。この課題に対する市の支援について伺う。</p> <p>① 自治会加入率向上への市の支援策について 私が「自治会グループ LINE の導入事例」を紹介し、自治会間での成功事例共有の場として意見交換会の開催を提案し、本年 5 月に開催して頂いた。そこで得られた意見や成果を踏まえ、市として新たに導入・実施した自治会加入率アップのための支援策があるか伺う。</p> <p>② 自治会間の意見交換会の今後の開催について 各自治会で地域特性に応じて様々な取り組みが行われている。それら取り組みを共有し、互いに学び合う場として、意見交換会は定期的に開催することが望ましいと考える。私は半年に一度の開催が効果的と提案したが、次回の開催予定や今後の開催方針を伺う。</p> <p>③ 転入者への自治会加入促進について 自治会加入率の向上は、地域防災力の強化や住民同士の支え合い、地域活性化の基盤となる重要な取り組みである。特に、転入者への早期の加入案内と丁寧な説明は、加入率向上の大きな鍵となる。市として、転入手続きの際に自治会加入の案内や説明をどのように行っているのか、また、説明後の加入状況のチェックやフォローアップはどのように実施しているのか伺う。</p>
	ふじわらちかこ	1. 外国人の生活保護について 2. 外国人の国民健康保険税の未納について	<p>① 過去 3 年間の外国人の生活保護の不正受給の件数を伺う。</p> <p>② 発覚した不正受給の内容を伺う。</p> <p>③ 不正受給額の総額と回収状況について伺う。</p> <p>① 外国人の国民健康保険税滞納者の過去 3 年間の推移を伺う。</p> <p>② 帰国・転出による回収不能の件数を伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 就労支援について	<p>① 市内の就労継続支援 B 型事業所における工賃水準が低く、障がい者の生活の安定につながっていない現状がある。市内 B 型事業所の平均工賃は県平均と比較してどの程度かを市は把握しているか伺う。</p>
12/9 (火)	チャレンジ みらい 森本次郎	<p>1. 施政概要について</p> <p>2. 全ての人に選ばれる街に</p>	<p>① 鹿渡南部周辺地区の交通安全対策及び砂ぼこり対策の取り組み状況について</p> <p>② 物井駅周辺地区の活性化の取り組みについて</p> <p>③ 文化センター改修事業の現況について</p> <p>④ 市庁舎の利便性向上に向けた取り組みについて</p> <p>⑤ 次期ごみ処理施設整備事業の進捗と汚染残土問題の現況</p> <p>⑥ 市役所の職場環境の改善に向けた取り組みについて</p> <p>⑦ 国勢調査の調査員の活動結果について</p> <p>⑧ 小中学校の体育館エアコン整備の検討状況</p> <p>⑨ 小学校の統廃合の検討状況</p> <p>⑩ 保育士の待遇改善の検討状況</p>
	公明党 大谷満子	<p>1. 高齢者が安心する街づくりのために</p> <p>2. 安心できる子育て</p> <p>3. 起こりうる災害への備え</p>	<p>① 高齢者の独居世帯や夫婦二人世帯に対する見守り活動の取り組み状況を伺う</p> <p>② 市内で行われている週いち貯筋体操で個人が会場費を負担する話があがっていて参加者が減少してしまう事を危惧するが市の考えを伺う</p> <p>③ RS ウイルスワクチン接種にかかる費用の補助が可能か伺う</p> <p>① フリースクールに通う方への補助が可能か伺う</p> <p>② ひとり親家庭への補助金に何があるか伺う</p> <p>③ 市の正規職員以外の保育職員の時給に差がないか伺う</p> <p>① 総合防災訓練の評価を伺う</p> <p>② 市で行う防災訓練への高校生や中学生の参画が可能か伺う</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	公明党 田中徳彦	1. 太陽光発電について 2. 地震に伴う電気火災について 3. 生活困窮者自立支援制度の実効性と支援体制の強化について 4. マイナ救急について 5. 通学路における自転車走行の安全確保とインフラ整備について 6. 歴史民俗資料施設整備について 7. 食品ロスについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 本市における市有地を活用した太陽光発電設備の導入の可能性について、現状の認識と今後の検討方針を伺う。 ② 災害時の非常用電源としての活用や、地域防災力の向上に資する運用計画の策定状況について伺う。 ① 直近3年間の感震ブレーカーの設置について、設置状況を把握しているのか伺う。 ② 感震ブレーカーの設置について、補助金の検討はされたか伺う。 ① 自立相談支援事業の年間相談件数と、支援プラン作成・就労実績の推移を伺う。 ② 支援が長期化するケースや、制度の対象にならない市民への対応はどうしているか伺う。 ① マイナ救急の実証事業が開始されました、現場での運用状況や市民への周知はどのように進められているか伺う。 ② 今後の本格導入に向けた課題と対応方針について伺う。 ① 市内通学路の安全点検の実施状況について、市内の通学路における歩道幅や障害物の有無、見通しの悪さの危険箇所の把握と改善状況はどうか伺う。 ② 電柱やバス停で、歩道上の障害物の移設や改善の検討状況を伺う。 ① 適切な展示構成が確保される予定か伺う。 ② 県教育委員会との連携を効果的に図られるか伺う。 ③ 本施設に不登校支援のカウンセリング機能を付加することは可能か伺う。 ① 学校給食における残渣の処理方法について、現状の処理ルート、委託状況、費用負担の有無を伺う。 ② コンポスト化や堆肥化の環境教育と連携した資源循環の取り組み状況について伺う。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
12/10 (水)	チャレンジ みらい 石井幸夫	<p>1. 将来を見据えた活性化対策</p> <p>2. 災害に強い環境対策</p>	<p>① 日本企業の 99.7%が中小企業である。中小企業は地域の暮らしと密接に関係した仕事をして市民の生活や経済を支えている。そこで中小企業支援策としてどのような支援をしているか伺う。</p> <p>② 本市の中小企業資金融資制度の利用状況について伺う。</p> <p>③ 東京圏の国家戦略特区は今まで千葉県では千葉市と成田市のみだったが、今年7月に千葉県全域が国家戦略特区と指定された。そこで本市の発展とどのように結びつけるか伺う。</p> <p>④ 税収増・雇用増を生む企業誘致に向け産業用地の創出に取組んでいる。そこで伺う。かつての明治大学農学部の千葉誉田農場跡地はネクストコア千葉誉田として官民連携の産業用地に生まれ変わった。本市にも日本大学の広大な用地がある。官民学連携の産業用地としてどうか伺う。</p> <p>① 「2050カーボンニュートラル宣言」に基づき本市の脱炭素化に向けた取組状況について伺う。</p> <p>② 公共施設・教育施設・庁舎駐車場・遊休不動産への再生可能エネルギー設備の設置状況について伺う。</p> <p>③ 災害に強いまちづくりに向け、冠水や浸水対策の整備状況と今後の対策について伺う。</p> <p>④ 災害時の拠点となる公共施設の耐震化・不燃化・非常用発電設備設置の状況について伺う。</p> <p>⑤ 医療施設・介護施設の耐震化・不燃化・非常用発電設備設置の状況について把握しているか伺う。</p> <p>⑥ 総合防災訓練を実施してみてわかった課題とその対策について伺う。</p> <p>⑦ 平時と災害時というフェーズの境界を極力なくし、日常の中に防災を自然な形で取り入れる概念であるフェーズフリーに対する市の考え方や取組状況について伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 住みたくなる街に向けた対策	<p>① 男性の喫煙者と非喫煙者を比較すると医療費は喫煙者の方が 11 %高いとされている。そこで健康寿命増進と医療費削減に有効とされる卒煙を促す市の取組状況について伺う。</p> <p>② 多年にわたり社会の発展に寄与してきた、高齢者に敬意と感謝する長寿者褒章事業の現況と拡充について伺う。</p>
	新政 戸田由紀子	<p>1. 学校給食施設の環境改善</p> <p>2. 文化センター大規模改修工事</p> <p>3. 子どもの最善の利益と市こども計画の推進</p>	<p>① 学校給食施設へのアンケート調査の結果を伺う</p> <p>② 調査で明らかになった現状・課題への対応を伺う</p> <p>③ 自校方式で実施している四街道小の給食施設の老朽化対応を伺う</p> <p>④ センター方式への移行にむけた取り組み状況を伺う</p> <p>⑤ 地場産品（野菜・お米・梨）の提供状況とお米の 100%提供について可能性を伺う</p> <p>① 大規模改修工事によって文化センターはどう変わらのか。目指すところは何か、改めてコンセプトを伺う</p> <p>② 現在の大ホールの利用について、これまで市民からどのような要望・苦情・意見が届いているのか伺う</p> <p>③ 各地で図書館が新設や移転に伴い、市民の交流拠点として、活気にあふれ、居心地のよい市民の居場所に変わりつつある。「文化の発信・交流基地としての市民の集える場所」を目指すのであれば図書館の果たす役割は大きいのではないか。今回、図書館は大規模改修工事の対象になっていないが図書館の運営を含めて協議を行っているのか、また、行う予定なのか伺う</p> <p>④ 文化センターがどう変わらのか、運営面も含めて市民への周知方法を伺う</p> <p>① こども基本法の趣旨を踏まえた見直しをしたとあるが、どのような内容なのか伺う</p> <p>② おおむね 29 才までの若者も対象となっているにも関わらず「こども・若者計画」としなかった経緯を伺う</p> <p>③ 子どもの生活状況調査（子どもの貧困調査）から見えた現状と課題を伺う</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	4. 障がい者福祉の充実・ 推進	<p>① 視覚障がい者への代筆・代読支援は居宅介護と同行援護で実施されているが、現状と課題を伺う</p> <p>② 地域生活支援拠点の登録事業者数と事前登録者数及びそれぞれの課題を伺う</p>
	阿部百合子	<p>1. 次年度予算にむけて</p> <p>2. 下水道使用料の値上げについて</p> <p>3. 文化センターの改修工事について</p> <p>4. 国際交流・多様性について</p>	<p>① 国保税の引き上げにならないような手当を、尽くして頂きたいが、いかがか。</p> <p>② 教員の定員未配置解消に向けて、県に要請を強めて頂きたいが、いかがか。</p> <p>③ 市で対応できる学校支援員の拡充はどのように進めていくのか、お聞きする。</p> <p>④ 介護保険制度に関して、国の審議会において、利用料2割負担の対象者拡大といった議論が進んでいるが、国にむけて自治体現場として意見を出して頂きたいが、いかがか。</p> <p>⑤ 交通の便について、千代田団地でのグリスロの実証実験は令和8年3月で中止、その後の事と、そのほかの地区での具体化はどのように進める予定か、お聞きする。</p> <p>① 下水道使用料の値上げが予定されているが、まだまだ物価高騰が続いている中、市民の暮らしの状況を見て、期限付きで先送りというやり方は考えられないか、お聞きする。</p> <p>② 他市での事例もあるが、赤字になったら、市の財源を繰り入れるというやり方は考えに入ってはいないのか、お聞きする。</p> <p>① あまりにも大きな改修費となっており、緊急に直さなければいけない箇所だけ工事をする方法で実施はできないのか、お聞きする。</p> <p>① 市は、市内在住の外国人に対して、もっと住みやすい街になるように、どのような施策で臨んでいるのか、お聞きする。</p> <p>② 大日小で行われている多文化・共生の交流事業は、どのような工夫がなされているのか、お聞きする。</p> <p>③ 市民レベルでの交流の場は、どう把握しているのか、お聞きする。</p> <p>④ パートナーシップ制度の作成は、どこまで進んでいるのか、お聞きする。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	5. イオン撤退後の物流や 企業の進出による、市 としての、その後の変 化について	① 固定資産税の増加額をお聞きする。 ② 雇用の増加数を把握しているか、お聞 きする。 ③ 市全体に好影響（例　市内で買い物） はどのように出ているか、お聞きする。
12/11 (木)	いぶき 大越登美子	1. 鈴木市政とまちづくり 2. 公文書管理について	① 商工業の活性化について (1)市内商工業への振興策の取り組み状況 (2)市として経営課題について把握されて いるか (3)商工業者に向けた中間支援組織の必要 性についての市の考え方 ② 図書館の在り方について (1)これまでの図書館事業の取り組みと成 果 (2)図書館整備に関する方向性 ① 公文書管理の意義と役割についてどの ような考え方 ② 公文書管理条例の必要性についての市 の見解
政 まつりごと 宮城そういち	1. NHK 受信料の対応	NHK 受信料は、テレビの設置やワンセグ・ フルセグ機能を持つ機器の保有があれば契 約義務が生じるとされています。自治体に おいても、公共施設に設置されたテレビや、 公用携帯電話に受信機能がある場合には、 適切な契約が求められます。 一方で、全国的にみると、契約漏れや不要 な契約が発生している例も指摘されており、 自治体の契約状況を確認することは、公費 の適正な執行の観点からも重要であると考 えます。 ① 本市の公共施設に設置されているテレ ビについて、NHK 受信料はどのような 契約状況になっているのか。契約件数 や未契約の有無を伺います。 ② また、本市が所有するワンセグ・フル セグ機能付きの公用携帯電話について、 NHK との契約をどのように行っている のか。その状況を伺います。	

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	2. 生活保護について	<p>① 外国人の生活保護について 生活保護法は、生活に困窮する「国民」に最低限度の生活を保障するものであり、原則として外国人は対象外とされています。 また、最高裁判所においても、生活保護法に基づき外国人に給付する法的な「受給権」は認められないと判断されています。 しかし現実には、自治体によっては外国人に生活保護が支給されている例もあります。 本市において、外国人に生活保護を支給している実態はあるのか。また、もし支給している場合、その理由についてどのように考えているのか、見解を伺います。</p> <p>② 2013～2015年の生活保護費引き下げを「違法」とした最高裁判決を受け、厚労省は対応を議論中ですが、自治体からは「事務負担が大きい」といった、受給者に寄り添っているとは言いがたい発言も報じられています。 判決から時間が経過している現状を踏まえれば、本来は自治体の側から、国に対し早期の追加支給の方針決定を求めるべきと考えます。 本市として、この問題にどのような姿勢で臨むのか、国への働きかけも含めて伺います。</p> <p>③ 物価高騰が続く中、生活扶助費は実情に追いつかず、被保護者の生活を支えるためには、制度内で認められている給付を適正に行うことが重要です。 生活保護実施要領では、他法手続きや検診のために施設へ出向く場合、移送費を支給できるとされていますが、十分に運用されていないとの指摘があります。 そこで、昨年度の年金手続き・児童手当手続き・児童扶養手当手続きそれぞれの移送費支給件数を明らかにした上で、移送費の適正支給を今後どのように徹底していくのか、必要な対策とあわせて本市の考え方を伺います。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 物井～佐倉間の鉄道ス ポット「モノサク」につ いて	<p>物井～佐倉間、いわゆる「モノサク」は全国的に知られた鉄道撮影スポットで、近年は多くの来訪者が見られます。一方で、路上駐車や私有地への立ち入りといった課題も指摘されています。</p> <p>四街道市としても隣接地域として一定の関わりがあり、観光面でも安全面でも連携の必要性があると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市としてモノサク周辺の状況をどのように認識しているか伺います。 ② 課題となっているマナーや安全確保について、佐倉市やJRと連携する考えはあるか伺います。 ③ 観光資源としての活用や情報発信を検討する考えがあるか伺います。
12/12 (金)	チャレンジ みらい 坂本弘毅	<p>1. 住みよい街づくりに向 けて</p> <p>2. 重要課題について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 公園・緑地・歩道の樹木や雑草について維持管理は適正に行われているか。 ② 空き家対策の取り組みを積極的に進めていくべきだと思うがどのように考えているか。 ③ 市内において耕作放棄地が多く見られているが現況と今後の課題についてどのような認識でいるのか。 ④ ヤード対策や自然環境保全に向け取り組み状況はどうなっているか。 ⑤ ボール遊びの出来る公園として中央公園野球場を開放しているが利用状況と今後さらに拡充をしていく考えはあるか。 ⑥ 総合公園野球場について管理運営の現況と老朽化対策について何度も取り上げてきたが市として整備をしていく考えは果たしてあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ① 次期ごみ処理施設整備事業の先行きは非常に厳しい状況となったが今後市として八街市との連携も含めどのように考えながら進めていくのか。 ② 文化センター、消防庁舎と改修工事や建替え工事が控えているが優先順位や財政状況を鑑みて市としてどのように考えながら事業を進めていくのか。 ③ 企業誘致に向け取り組み状況はどうなっているか。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 自然災害に備えて 4. 教育行政の未来に向けて	<p>④ 新庁舎建設の進捗状況と ATM の設置に向け積極的な働きかけを継続して行っているのか。</p> <p>⑤ 都市計画道路 3・3・1 号山梨臼井線の 2 工区だが市として整備の必要性についてどのような見解でいるのか。</p> <p>① 総合防災訓練が実施されたが市としての評価と今後に向けどのように活かしていくのか。</p> <p>② 四街道雨水幹線の溢水対策に向け早急に取り組んでいく必要があるが市としてどのように考えながら進めていくのか。</p> <p>① 小学校の統廃合に向け建設的な議論はされているのか。</p> <p>② 学校給食の運営について先を見据えた議論は積極的に行われているのか。</p>
	新政 成田芳律	1. 数字で見る鈴木市政	<p>令和 7 年 9 月定例会で、鈴木市政についての総評としての質問を行った。その際、市長としての四街道市政のかじ取りとしてという観点から質問を行ったところである。そこで、今回は、前回行った質問を前提に、対話と現場主義という点における解像度を上げるべく就任以降の取り組みを数値、数字において確認すべく以下伺う。</p> <p>① タウンミーティングをはじめ、特に前年度は基本構想策定に向けた市民意見の聴取を行ったと認識しているが、就任以降の市民との直接の対話を行った回数及び参加者の概数。</p> <p>② 2022 年に行った、当市の健康に対するアプローチとなる基礎資料として解像度を高く、効果的な施策展開を図るべく行った、「健康とくらしの調査」の回答数。</p> <p>③ ゾーン 30 を含め、危険な通学路として認識されていた箇所への対応数。</p> <p>④ 長寿のお祝いにおいて、どれだけの方に対しても直接市長が訪いたか。</p> <p>⑤ 市内での防災訓練への市として参加した回数及び参加者の概数。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	<p>2. 次期ごみ処理施設</p> <p>3. 庁内事務の改善に向けて</p> <p>4. 学級閉鎖対応</p>	<p>当市の最懸案事項の一つでもある次期ごみ処理施設稼働について、状況を以下伺う。</p> <p>① 令和7年9月定例会以降の覚書を交わした八街市との状況及び市の取り組み状況。</p> <p>② 進捗に伴う関係地域、吉岡、みそら、山梨三区への説明内容及び状況。</p> <p>③ 住民訴訟の状況。</p> <p>④ 今後のスケジュール。</p> <p>市役所に対しては、日常業務として住民や議会への応対と共に、国・県からの照会、調査や事務連絡、通達といった内容の連絡がなされている。その量は、社会ニーズの多様化や、行政運営上での専門細分化に伴い、増加傾向となっていると推察している。そこで、実態を確認するとともに、国・県に対しても改善要求ができる点があるのであればという観点から以下伺う。</p> <p>① 月平均又は年間といった、期限は府内で取りまとめのしやすい方法で構わないが、国・県からの連絡がどの程度来ているのか。</p> <p>② 調査目的や活用方法が必ずしも明確ではないものや、項目が多く精査の必要があるものや、内容が整理されておらず、対応に苦慮するものがどの程度あるのか。</p> <p>③ 調査又は照会として、複数部署にまたがる内容が項目としてなされているものがどの程度か。</p> <p>いわゆる共働き世帯が増えた現状、対応に苦慮する場面がある。具体的には今年は早くから流行しているインフルエンザによる学級閉鎖もその一つとして挙げられると考える。</p> <p>自身の子が発症した場合、症状や予兆により、どのように対応するかについては予測がつきやすいが、学級閉鎖の場合では、前日、当日の急な連絡となる場合が多く、在宅勤務やシフト交代といった切り替えの時間的な猶予があるとは言い難い状況がある。特に、小学校低学年児童や幼児を育てている家庭においては、突発的な保育需要が生じることとなる。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	<p>5. 大腸がん検診受診率向上</p> <p>6. 5歳児健診の必要性</p>	<p>ただし、感染それ自体というよりは、急な子どもの居場所の喪失への対応という行政需要として検討すべき事項であると考えるため、以下伺う。</p> <p>① 市教育委員会と健康こども部において、情報の共有が行われているか、又は行う予定か。</p> <p>② 実態把握として、保護者の就労先含め学級閉鎖となった時の保護者の対応をアンケートや聞き取りとして把握する必要があると考えるがいかがか。</p> <p>③ 中長期の取り組みとして、緊急一時預かりの場所の確保又はオンラインでの居場所づくりとしての環境整備の検討についていかがか。</p> <p>④ 中長期の取り組みとして、市単独、又は国・県との連携により、就労先、事業者に対しての理解促進や、支援策の構築に向けての要望活動を含めた取り組みは可能か。</p> <p>当市では、各種検診において、ナッジの早期導入や、様々な工夫により、受診率の向上への対応や方策を探っている。そのようななか熊本市では、冬季に自宅で完結できる郵送の大腸がん検診を導入したことにより、受診率が 2.5 倍に増加したという報告もなされている。確かに国の指針において、温度管理及びそれに伴い精度も下がるため、検体の郵送は原則行わないものとしている。しかし、冬季においては温度についてはその限りではなく、受診率対策として選択肢の一つになりえるのではと考えるがいかがか伺う。</p> <p>現在当市では、小学校入学前の、就学前健診を行っている。しかし、心理士や保健師、看護師といった専門職の確保は課題として挙げられるが、より詳細に一人ひとりの発達状況を確認することができる 5 歳児健診の実施について、どのように捉えているか伺う。</p>

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	7. 公園の花火利用 8. プレコンセプションケアの周知 9. 熱中症対策として学校 での夏季塩分タブレット持参	<p>2023年以降、都内的一部公園で花火の使用が一部解禁となり、試行的に公園内で花火を楽しむことができる自治体も増えてきた。千葉市においては、「他の公園利用者や周辺に迷惑とならない範囲で、市販の子ども用花火を行うことは可能です。爆竹やロケット花火など、大きな音の出る花火は使用できません。」と明確に使用できる花火とそうではない花火を分けることで、騒音や他の公園利用者への迷惑行為をさける形での花火使用が可能となっている。そこで、当市においては、引き続き一律に禁止していく予定か、又は検討を行い、場合によっては一部可能となる可能性もあるか伺う。</p> <p>プレコンセプションケア通称プレコンとは、性や妊娠に関する正しい知識を身に付け健康管理を行うよう促すことである。</p> <p>当市でもそれぞれの個別において、周知啓発を行っているところではあるが、パッケージとしてこの概念が示す内容の周知啓発を行う、又はセミナーの開催について、検討の余地はあると考えるがいかがか伺う。</p> <p>特別教室や体育館へのエアコン設置を求めるものであるが、仮に決定したとしても、相応の時間を要すると考える。また、9月定例会において、学校や周辺に自販機の設置検討について質問した。</p> <p>様々な事情により即時対応が可能なものの、検討を要するもの、課題としての認識があるが実施に至らない事も往々としてあるという点を認識しており、こちらも課題があることは認めつつ、登下校時や体育の授業といった関係から、冷感グッズ使用や、塩分タブレットの持参について検討することについていかがか伺う。</p>
	公明党 西塙義尊	1. ペアレンタルコントロールの活用 2. 商品であって使用しない軽自動車への軽自動車税（種別割）の課税免除について	<ul style="list-style-type: none"> ① こどもを守るアプリ「コドマモ」の周知・啓発をすべきと考えるがいかがか ② 小中学校で配布の学習用タブレット端末に「コドマモ」をインストールしてはどうか <ul style="list-style-type: none"> ① 公道を走らない商品である軽自動車への課税の根拠を伺う ② 販売価格に課税分が上乗せされるが、購入者がその税を負担する事に関して市の見解を伺う

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 公共交通空白地域の課題 4. 子育て環境の整備	③ 平成 12 年の総務省条例例に基づく改正前の市税条例での課税の有無について伺う ④ 千葉市が令和 8 年度から課税免除とするが、それによる四街道市への影響について伺う ① グリーンスローモビリティ実証実験への参加を表明した区・自治会の数について伺う ② これまでの公共交通空白地域解消への取り組みの実績と課題を伺う ① 吉岡や鷹の台地域への保育園開設について市の考えを伺う ② こども家庭センター開設後の反響と今後地域ごとに開設する考えがあるか伺う